

資料4

所属	事業課産業グループ
担当	大河原 郷
電話	0248-53-2430

泉崎村地域ブランド創出事業計画：泉崎村地域再生計画 KPI調書

計画の概要	本村の基幹産業である農業について、所得の面も含めて、若者や女性にとってさらに魅力のある「しごと」とするため、有機栽培農産物を主原料として、有機農産加工食品のJAS規格を取得し、「売れる6次化商品」づくりを実践し、村農産物のブランド確立と販売力を高め、稼ぐ視点での地域産業の6次化を推進していく。
-------	---

計画期間	H28～H32
------	---------

計画の目標	目標値(基準年度)	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	KPI増加分の累計	対応KPI
泉崎6次産業館全体の販売収益	0千円	0千円	0千円	3,945千円	10,844千円	14,294千円	29,083千円	①
泉崎6次産業館における雇用者数	0人	0人	3人	3人	3人	3人	12人	②
有機栽培に関わる農業就業人口	0人	2人	5人	10人	10人	5人	32人	③

施設名		整備量(m ²)					事業費(千円)						
		H28	H29	H30	H31	H32	計	H28	H29	H30	H31	H32	計
泉崎6次産業館	計画	0	450	0	0	0	450	2,910	110,000	0	0	0	112,910
	実績	0	450	0	0	0	450	2,910	106,992	0	0	0	109,902

対応する施設名	KPI(事業の実施状況に関する客観的な指標)	H28		H29		H30		H31		H32		備考
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
泉崎6次産業館	①KPI1	泉崎6次産業館全体の販売収益	0	0	0	0	3,945	2014	10,844		14,294	千円
	②KPI2	泉崎6次産業館における雇用者数	0	0	3	0	3	9	3		3	人
	③KPI3	有機栽培に関わる農業就業人口	0	2	5	0	10	2	10		5	人

H30年度	事業進捗【Do】	泉崎6次産業館のオープンに向け生産者農家や卸売事業者等と協議を行い、準備を進めてきた。
	効果検証分析【Check】	生産者農家及び卸売事業者等との協議を進めた結果、オープン後の出品に向け相互に協力を行い、準備を進めることを確認できた。
	改善点【Action】	時季により出品されるものが重なるため、より多くの品ぞろえを確保するため、今後も引き続き出品希望者を募る。また、早期に特産物と加工品の開発を進める。
	H30年度の事業内容【Plan】	泉崎6次産業館の新しい名称も決まり、オープンすることが出来た。今後は、地元の農家を中心に地域色豊かな特産品や加工品の開発を積極的に進めていきたい。
	その他KPIを向上させる取組(ソフト事業との連携等)	有機栽培農法試験研究事業 事業概要：村農産物のブランド確立と稼ぐ視点での6次化、及び学校給食センターや福祉部門への食材提供をすることにより地産地消を推進していくため、有機栽培農産物の試験作付けを行う。圃場面積7,000m ²